

# 憲法しんぶん速報版

第94号

2004年8月26日

発行＝憲法会議

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 秋に向け、憲法改悪の動き多面的に 政党間のすりあわせ協議も開始

夏休みを終え、自民、民主、公明の各党はいつせいに改憲に向けた動きを具体化させています。同時に、改憲発議に必要な3分の2議席を確保するために、これらの政党間の改憲案すりあわせに向けた動きもさまざまな形で開始されています。憲法改悪に反対し、9条を守る運動を急速に盛り上げることが求められています。

### 年内に“たたき台”作成へ

【自民党】 党憲法調査は8月5日に開いた総会で、これまでの憲法改正プロジェクトチームを解散し、新たに憲法改悪案の「起草委員会」を設置することを決めました。ここで、6月にまとめた「論点整理」をもとに9月から具体的な改憲案作成の作業を開始し、年内にたたき台をまとめることにしています。

なお、秋以降、民主、公明の両党に改憲のための常設の協議機関を設置するようよびかけることも決めています。

### 代表選で党内意見集約めざす

【民主党】 岡田克也代表は、25日に発表した政権公約「2015年、日本復活ビジョン」で、「このビジョン実現

### 拡大常任幹事会のご案内

- ◇日時 9月11日(土)
- ◇会場 東京・文京区・全労連会館
- ◇議題①憲法改悪をめぐる情勢  
②共同の拡大と憲法会議の役割  
③憲法会議の組織強化  
④その他

のためには、憲法改正を必要とする部分がある。必要に応じて憲法改正することは当然だ。今後、党の憲法調査会中間報告をたたき台に、党内論議を深めたい」としています。岡田代表は、当初2006年中にまとめるとしていた党の改憲案を、前だおしして2005年にまとめることを表明しています。

こうした動きにたいし、党内では中堅・若手議員約50人が8月2日、「9

条の精神を世界に広め、活かしていきます」との趣旨のもとに「リベラルの会」を発足させました。

一方、衆院新人議員は8月末、「我が党は創憲の考え方を打ち出している。党憲法調査会が年末までに意見集約を目指していることも視野に置いて、調査会としての議論を一期生として活性化したい」との趣旨のもとに「創憲を考える一期生の会」の発足をめざしています。

### 「9条堅持」打ち出したが…

**【公明党】** 8月25日党憲法調査会をひらき、「9条の扱いについて、現行の条文を堅持し、修正を加えない方針で大筋一致した」といいます。

「9条堅持の意見が勢いを増しているのは『地方議員などには『改憲議論で自民党に引きずられてはいけない』という意見が多いことが影響している。また、『当面は従来の9条堅持を踏襲しておき、自民、民主両党の憲法改正論議を見極めたうえで対応した方が得策』という判断も働いていそうだ。」との指摘も(26日、読売)

### 海外で改憲に向けた協議開始

**【自・民・公の国対委員長】** 自民・中川、民主・川端、公明・東の与野党国対委員長は、22日から31日の日程でイタリア、トルコを訪問します。自民党のよびかけによるもので、「衆参の憲法調査会が来年5月に向け、最終報告書の作成を急ぐなど、憲法改正が具体的な政治日程に上るなか、民主党と一定の協力関係を築こうという長期

戦略の一環と見られている」(21日、毎日)。

現地では、憲法改正手続きのヒアリングのほか、秋の臨時国会の日程なども協議される見込みとといいます。

### 憲法調査会も改憲明記の方向で

衆院憲法調査会は、最終報告書をまとめるための調整に入りました。10月に予定されている臨時国会では、憲法改悪を前提に、具体的な改悪点について集中的な論議をおこない来年初めから報告書の作成に入る構えです。

調査会幹部の話によると、「報告書には、総論で『新たな時代に対応するための憲法改正が必要』などの表現で、改正の必要性を指摘することを検討している。そのうえで、現行の条文の問題点や、新たに盛り込むべき権利などについて、主な意見を盛り込む予定」

(21日、読売)とといいます。

衆院調査会は9月5日から13日間、欧州4カ国に調査団を派遣します。これには共産、社民の議員は加えられず、自民、民主、公明が報告書についての協議を行う場になる可能性が強いとみられます。(参院調査会は前号参照)

### 改憲問題資料集発行

憲法会議は、学習の友社と共編で「改憲問題資料集」を発行します。自民、民主、公明の改憲構想や財界、アメリカの提言などを収録。全体の解説を憲法会議の川村俊夫事務局長がおこなっています。9月上旬発売予定。予価1000円。今後、シリーズで発行していくことにしています。